



2024年5月15日

各位

会社名 株式会社チェンジホールディングス
 代表者名 代表取締役兼執行役員社長 福留 大士
 (コード番号：3962 東証プライム)
 問合せ先 取締役兼執行役員CFO 山田 裕
 (TEL. 03-6435-7347)

通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

(のれんの減損損失の計上・債権の取立不能又は取立遅延のおそれ及び貸倒引当金繰入額の計上について)

2023年5月15日に公表した2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の通期連結業績予想値と、本日公表の決算短信における実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,000	11,000	10,970	7,516	7,211	99.69
今回実績値(B)	37,015	7,562	7,429	4,500	4,325	59.78
増減額(B)-(A)	3,015	△3,437	△3,541	△3,016	△2,886	
増減率(%)	8.9	△31.3	△32.3	△40.1	△40.0	
(参考) 前期連結実績 (2023年3月期)	20,021	5,730	5,653	3,910	3,856	53.31

2. 連結業績予想値と実績値との差異の理由

2024年3月期通期業績におきまして、売上収益についてはパブリテック事業におけるふるさと納税プラットフォームが好調に推移したこと、サイバーセキュリティ領域に事業領域を拡大したことにより業績予想を上回る着地となりましたが、営業利益、税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、基本的1株当たり当期利益については、当社連結子会社の株式会社DFA Roboticsについて「IAS第36号 資産の減損」に基づき将来の回収可能性を慎重に検討した結果、のれんの減損損失1,956百万円を計上したこと、また、本日開示しましたとおり、当社連結子会社の株式会社トラストバンクにおいて、GX事業(エネルギー事業)における取引先2社に対する債権につき取立不能又は取立遅延のおそれが生じたことにより、連結決算上の処理を加味した債権回収不能見込額の全額に対して貸倒引当金繰入額1,160百万円を計上したことにより、業績予想を下回ることとなりました。これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上収益37,015百万円、営業利益7,562百万円、税引前利益7,429百万円、当期利益4,500百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益4,325百万円、基本的1株当たり当期利益59.78円となりました。

なお、当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題であると認識しております。現在、当社は未だ成長拡大の過程にあると考えており、経営基盤の強化及び積極的な事業展開のために内部留保の充実を図り、財務体質の強化と事業拡大に向けた運転資金もしくは投資に充当することで、更なる企業価値の向上を実現するこ

とが株主に対する最大の利益還元につながると考えております。しかしながら、今後も内部留保の充実を図り事業拡大のための投資を行うことを優先しつつも、中長期的視点で事業拡大を図る方針に対して株主の理解を深めていただくための継続的な利益還元の目的を踏まえ、各事業年度の経営成績を勘案しながら、配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。上記の通り、当連結会計年度における営業利益、税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、基本的1株当たり当期利益は業績予想を下回ることとなりましたが、発生した減損損失や貸倒引当金繰入額はキャッシュアウトを伴わず、また、これらの減損損失及び貸倒引当金繰入額を除いた場合の営業利益については業績予想値と同等の水準となることから、当期の期末配当については、2024年3月25日に開示いたしましたとおり1株当たり18円70銭（普通配当12円00銭、特別配当6円70銭）を据え置く予定であります。また、本日開示いたしましたとおり、株主還元の拡充、今後の自己株式を用いたM&A・アライアンスなど機動的な投資戦略の遂行を主目的に、自己株式の取得を実施いたします。詳細につきましては本日公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 業績に与える影響

本日公表の「2024年3月期決算短信〔IFRS〕（連結）」に反映しております。

以上